

## 2017 年度学位記授与式 卒業生代表挨拶

本日は、私たち卒業生のために、このような盛大な学位記授与式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。また、ご多忙にもかかわらず、ご出席くださいましたご来賓の皆様、学長をはじめとする諸先生方、ならびに保護者の皆様、卒業生を代表して厚く御礼申し上げます。

私は、関西国際大学での学びを通して、何事にも挑戦することの大切さを学びました。本学の目標の中にある、「『やればできた』経験から『もっとできる』挑戦へ」という言葉は今の私のモットーです。

この4年間、様々なことを経験しました。授業でのグループワークやプレゼンテーションだけでなく、インターンシップやグローバルスタディ、コミュニティスタディでのグループリーダーとしての活動やリーダーシップ演習などの学外に赴く授業、そして、ウォーミングアップ学習でのヘルパーや学習支援チューター、オープンキャンパスの企画運営を行うCOCでの活動と、本当にたくさんの事に挑戦することができました。

しかし、入学当時の私は4年後の自分がこんなにもたくさんの経験をしているとは夢にも思っていませんでした。なぜなら、入学当時の私には夢も目標もなく、ただ大学を卒業することだけが学校に行く理由だったからです。そのため、本学の学びの特徴であるアクティブラーニングを用いた授業が苦手で、人前に立って発表するのももちろん、グループワークですら嫌いなぐらいでした。そんな私が、何故こうしてたくさんの方を前に話しているのかというと、それこそが、「『やればできた』経験から『もっとできる』挑戦へ」ということなのだと思っています。はじめは苦手だったグループワークも、何度も何度も経験することでコツをつかみ、いつしか苦手意識も消え、就職活動をするときには積極的にコミュニケーションをとり、まとめ役が出来るようになっていました。このような経験を繰り返して、どんな小さな成功体験でも積み重ねることで、自分の力や自信になることを実感し、様々なことに挑戦することが出来ました。この4年間で培ったたくさんの経験や学びは、私にとっての誇りであり財産です。

今日、この日を迎えられるのは、自分たちの力だけではなく、周りの方のたくさんのサポートがあったからこそです。

学修面から進路まで支えてくださり、大学生活の悩みや不安にも、いつも親身になって聞いて下さった諸先生方、大学生活での不安やつまずきをいつも一緒に考えてくださり、声を掛けて下さった事務局職員の皆様、私たちのために先頭に立って道を開き、憧れであり目標となって背中を押して下さった先輩方、気さくに話しかけ、頼ってくれた後輩、時にぶつかりながらも、共に喜び、共に悲しみ、共に悩み、かけがえのない時間を共にした多くの友人、自分たちのことを一番に理解してくれ、温かく見守ってくれた家族に、心から感謝しています。

今日、私たちは関西国際大学を卒業します。新しい世界に飛び込んでいく私たちには、想像もできないような出来事が待ち受けているのかもしれませんが、そんなときこそ、関西国際大学で培った学びや経験、恩師や友人との出逢いを糧にして、どんなことにも挑戦しながら、本学卒業生としての誇りを胸に、一步ずつ、自分らしく、前向きに歩いていきたいと思えます。

最後になりましたが、関西国際大学のますますのご発展を祈りつつ、お礼の言葉とさせていただきます。4年間本当にありがとうございました。

2018年3月15日

卒業生代表 人間科学部 人間心理学科 豊川瑞穂